



# 燃料費等の採録期間変更に伴う再算定結果について

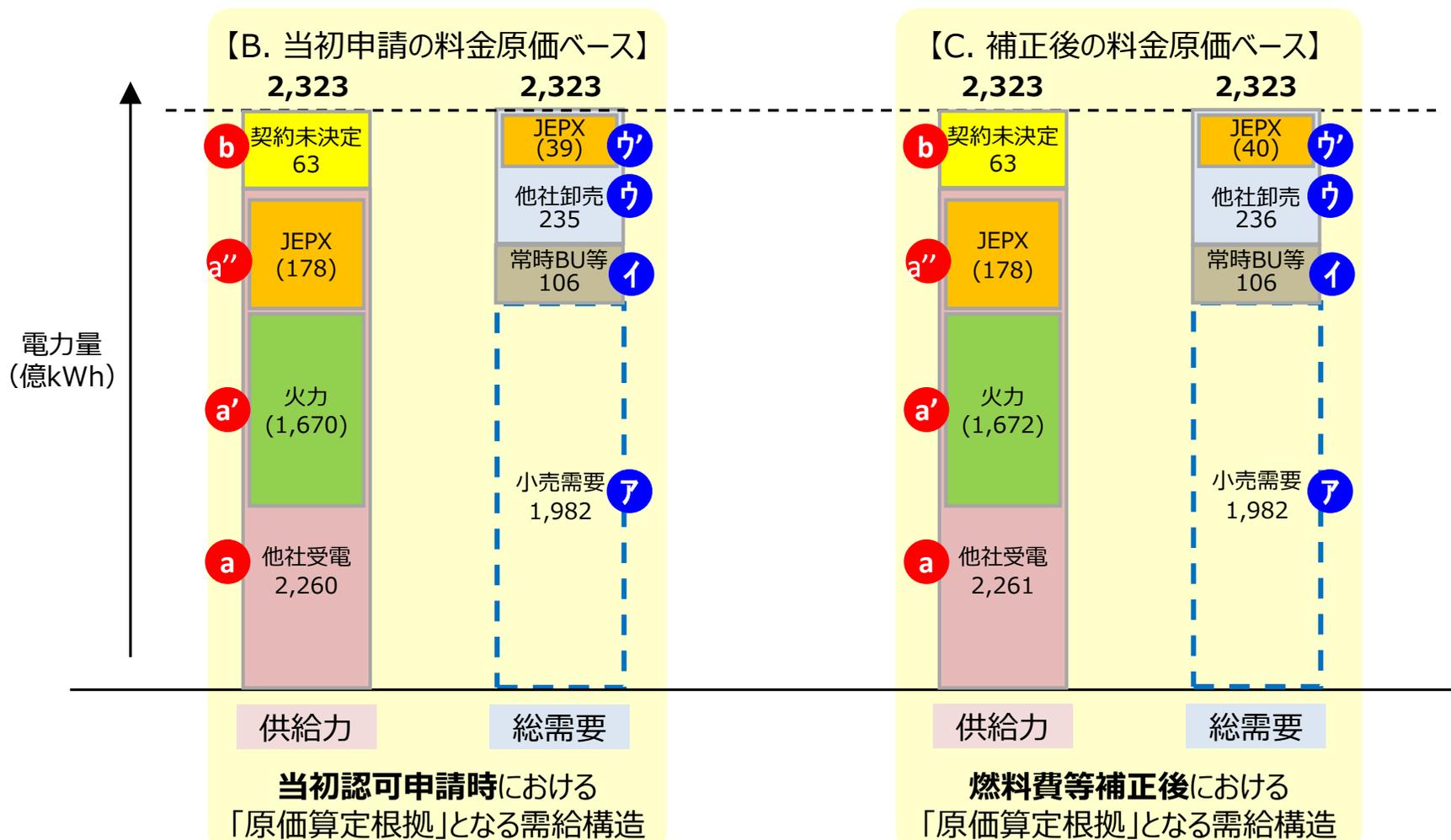
2023年 4月4日

東京電力エナジーパートナー株式会社

# 1.燃料費等の採録期間変更に伴う需給構造の変化（概要）

- 燃料費等の採録期間や市場価格の考え方の変更に伴い、市場価格と限界費用（揚水発電）とのマッチングにより卸取引所販売が増加しております。
- 結果、C. 補正後の料金原価ベースでは、他社受電とJEPX販売において各々1億kWh増加しております。

(単位：億kWh、数字は全て送電端、2023～2025年度の平均値)



(「JEPX」「火力」分は内数、端数処理の関係で一致しない場合がある。)

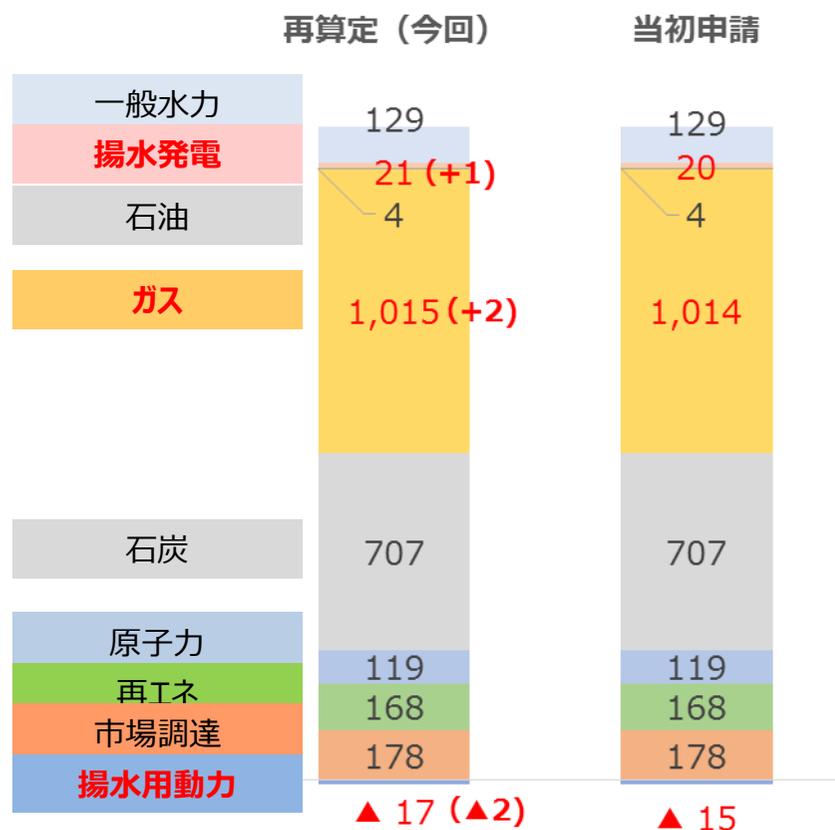
## 2.燃料費等の採録期間変更に伴う需給の変化

- 今回の変更に伴い、「揚水発電」および「取引所販売」が1億kWh増加しております。
- なお、揚水発電の揚水原資として「ガス」が2億kWh増加しておりますが、「揚水用動力」と相殺されます。

(億kWh、数値はすべて送電端)

項目	年度	再算定 (今回)				当初申請 (B)	差引 (A - B)	
		2023	2024	2025	平均 (A)			
受電電力量	一般水力	130	126	131	129	129	0	
	揚水発電	22	20	21	21	20	1	
	火力	石油	4	4	4	4	4	0
		ガス	1,140	977	929	1,015	1,014	2
		石炭	644	732	743	707	707	0
	原子力	54	81	223	119	119	0	
	再エネ	170	167	168	168	168	0	
	市場調達	106	260	169	178	178	0	
	揚水用動力	▲ 18	▲ 15	▲ 18	▲ 17	▲ 15	▲ 2	
	合計	2,252	2,351	2,369	2,324	2,323	1	
卸販売	▲ 265	▲ 378	▲ 382	▲ 342	▲ 340	▲ 1		
(再掲) 取引所販売	▲ 38	▲ 36	▲ 45	▲ 40	▲ 39	▲ 1		
小売需要	1,987	1,973	1,987	1,982	1,982	0		

### 【受電電力量における電源構成の比較】



※赤字が今回の修正箇所になります。

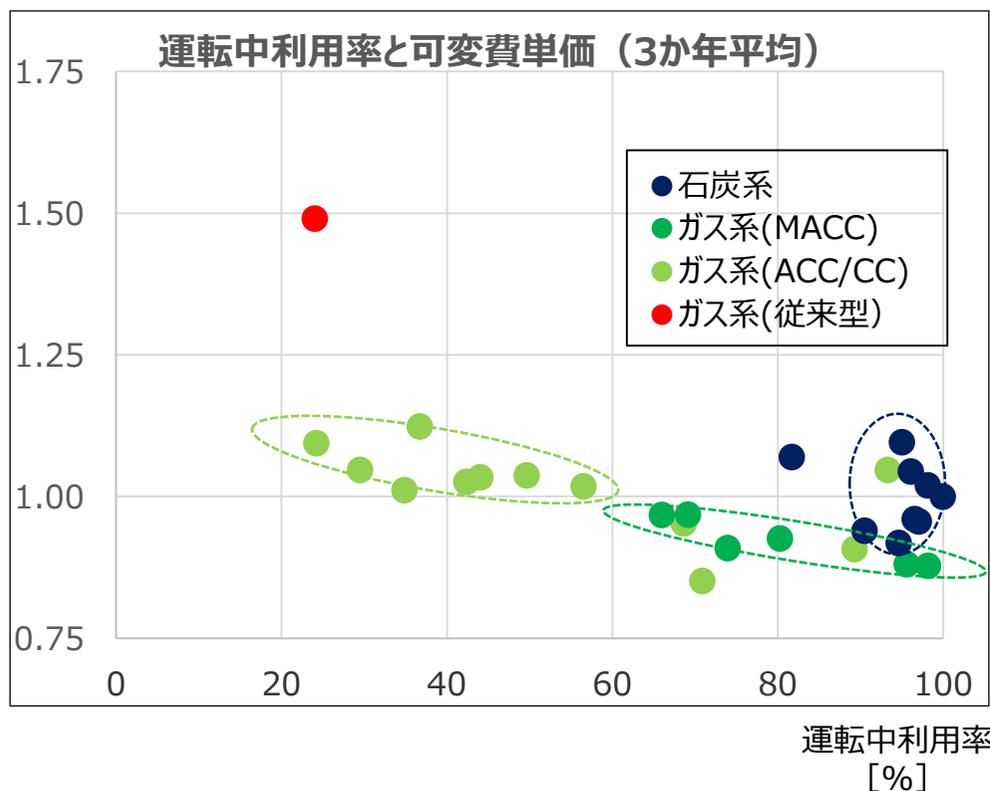
※端数処理の関係で数値が合わない場合があります。

※端数処理の関係で数値が合わない場合があります。  
 ※上表では「契約未決定」分を燃料種別に配分しているため、1スライドのグラフの数値と合わない場合があります。

- 今回の変更に伴い、燃料価格の低下により火力発電の可変費単価は全般的に低下しております。
- 特にLNG価格の低下を受けて、ガス系の下がり幅が大きくなっております。

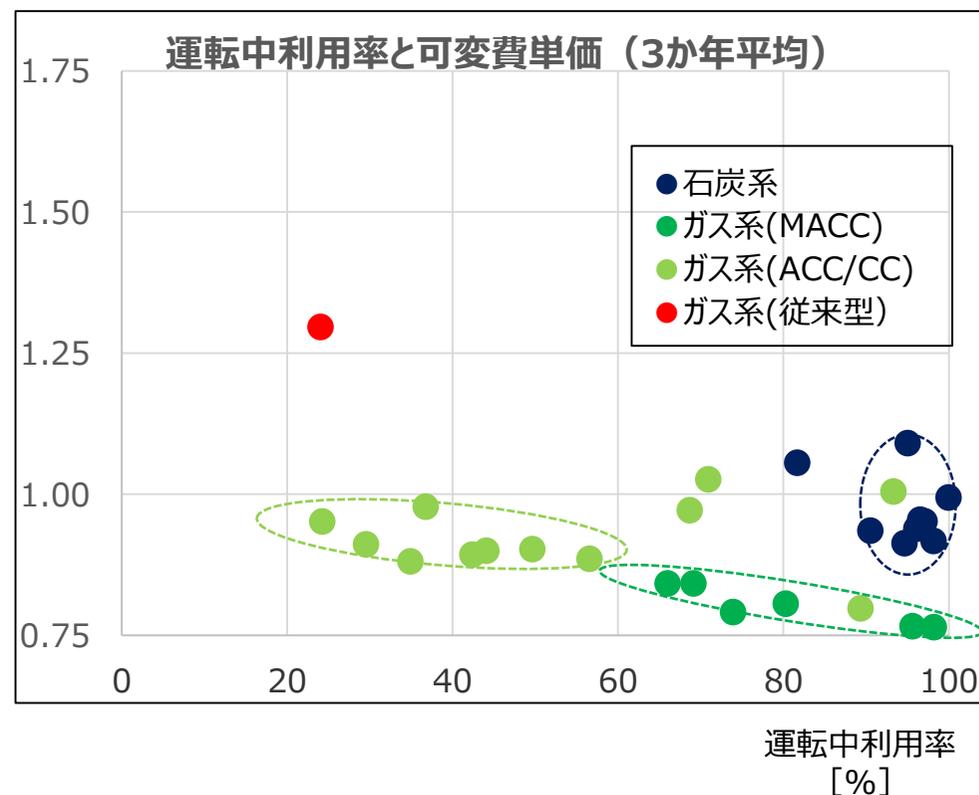
【当初申請】

可変費単価



【再算定 (今回)】

可変費単価



※可変費単価は当初の石炭火力発電所の可変費単価平均を1.00とした時の相対関係により示しています。

※欄外に当初指数2.1、再算定指数1.8のLNG（従来型）があります（運転中利用率32%、年間の利用率は3%）。

## 2. 他社購入・販売電力料の再算定に係る概要

- 燃料価格・市場価格を直近値に置き換えて再算定した結果、1月23日申請値と比較し、他社購入電力料は年平均▲10,816億円、他社販売電力料は▲4,057億円減少いたしました。
- それにより、総原価としては、購入・販売の変動額の差引により、年平均▲6,759億円減少いたしました。

【内訳表（購入・販売電力料）】

(億円)

	再提出値 A	申請値 B	申請値との差異 A-B	備考
①他社購入電力料 計	56,281	67,097	▲10,816	
相対購入	44,534	48,419	▲3,885	燃料・市場価格の採録期間変更によるもの
取引所購入	7,075	11,804	▲4,729	市場価格の採録期間変更によるもの
新エネ	3,007	5,209	▲2,202	
うちFIT買取	2,900	5,099	▲2,199	市場価格の採録期間変更によるもの
新市場関係	1,665	1,665	—	
②他社販売電力料 計	11,254	15,310	▲4,057	
相対販売	4,808	5,732	▲924	燃料・市場価格の採録期間変更によるもの
常時BU	2,182	2,710	▲528	燃料・市場価格の採録期間変更によるもの
取引所販売	4,088	6,692	▲2,604	市場価格の採録期間変更によるもの
新市場関係	176	176	—	
③ 差引（①-②）	45,027	51,786	▲6,759	

※ 取引所購入・販売には間接オークション分を含む

## 【規制部門】

	申請時 2023年1月23日	補正後 2023年3月30日	差異
料金原価[3カ年平均](億円)	12,985	11,813	▲1,172
平均値上げ率	29.3%	17.6%	▲11.7%

## 【モデル料金の値上げ率】

契約種別		現行料金 (旧料金)	申請 2023年1月23日		補正 2023年3月30日	
			申請料金	値上げ率	補正後料金	値上げ率
ご家庭の お客さま	従量電灯B (30A,260kWh)	9,126円	11,737円	28.6%	10,684円	17.1%
	従量電灯C (12kVA,720kWh)	29,546円	36,678円	24.1%	33,762円	14.3%
商店等の お客さま	低圧電力 (8kW,550kWh)	22,139円	27,601円	24.7%	25,373円	14.6%

※ 現行料金には、燃料費調整額(5.13円/kWh)を含みます。

※ 現行料金、申請料金および補正後料金には、電気・ガス価格激変緩和対策事業による値引き額は含みません。

※ 現行料金、申請料金および補正後料金には、消費税等相当額および再生可能エネルギー発電促進賦課金(2022年5月分～2023年4月分)[3.45円/kWh]を含みます。

※ 現行料金には、口座振替割引額(55円)を含みます。

※ 低圧電力の現行料金の力率は90%で算定しています。

※ 現行料金、申請料金および補正後料金には、2023年4月のレベニューキャップ制度の導入に伴う託送料金の見直し分は含みません。